



今、ここ

めがす子どもの姿 ~ やさしく かしこく たくましく ~
「合言葉」わたしが主人公 一人一人が主人公
ーわたしがわたしをつくる。わたしの学校をつくるー

令和4年9月1日 第5号
銭座小学校 校長 丸山朋子

2学期が始まりました。

42日間の夏休みが終了しました。

「行動制限」のなかった今夏は、各地で、夏ならではの行事や催しも復活し、夏を楽しむ人々の姿がニュースなどでも伝えられました。

一方で、過ごす場、過ごし方に気をつけることも、引き続き求められた夏休みでした。体調を崩した子どもたちやご家族・地域の皆様も、いらっしやったことと思います。お見舞い申し上げます。

元気な時は体調の「保持・増進」、調子が悪いときは「休養・安静」と、自分の体・命は自分で守る意識で、そして、「誰にでも起こりうることなんだよ」という、冷静で温かい「わたし」で、一人一人が過ごしていきましょう。

さて、子どもたちの登校とともに、銭座小学校の2学期が始まりました。ともに学校生活を送り、学びあえる幸せに感謝します。

ご家庭の皆様、地域の皆様、2学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

8月9日 平和祈念集会

1945年、昭和20年8月9日午前11時2分に投下されてから77年が経ちました。

当時、銭座小の児童は2,300人いましたが、終戦が近づいたころには疎開により850人になっていたそうです。そして、推定約500人の子どもたちと4名の教員が原爆でなくなったと記録されています。

時間の経過とともに、戦争を体験された方がさらに少なくなり、世界の状況が変化中、わたしたちが学び続けることの大切さが一層高まります。

この日の集会は、子どもたちが、代表委員会を開いて、役割を分担し、実施しました。

5年生は、1学期に学習したことをもとに学びを深め、全校に向けて発表しました。原爆を体験された城臺さんのお話や、資料館、原爆遺構の見学学習で知ったこと、考えたことなど、一生懸命学習したことが伝わってきました。

「自分たちにできることがたくさんある」という5年生の考えをこれからの生活に生かしていきたいです。

6年生の さん、 さんは「原爆殉難教え子と教師の慰霊式(3日)」、 さん、 さんは9日の「長崎市平和祈念式典」にそれぞれ代表で参加し、献花を行いました。式の目的を理解し、誠実な態度で参加しました。

リモート 朝の会

ご家庭のご協力を得て、今年の夏休みはクロームブックを使った家庭学習に取り組みました。皆様ありがとうございました。また、8月19日は学校と各ご家庭をつなぎ、「リモート朝の会」にも挑戦しました。子どもたちの様子はいかがでしたか？

ICT機器を始め、私達の身の回りの道具は、使う人が「何のために、どのように使うか」によって、その価値が決まります。

子どもたちの姿が画面に映り、言葉を交わす様子に、一つ一つの「初めての取組」が、「当たり前」になっていくのを実感しました。

より良い使い手になっていくよう
これからのお力添えも
よろしくをお願いします。

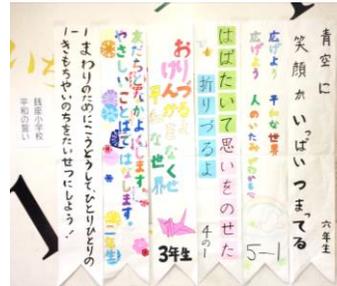


リモートで朝の会
6年生

5年生:学習の足跡
「自分たちにできること」
考えを出し合いました。



各学年で話し合った
「平和への誓い」を
発表しました。



大盛況!放課後子ども教室

8月2日、放課後子ども教室が行われました。まず、図書室で学習。その後、玄関前のピロティへ。くじ引き、金魚すくい等のコーナーが作っており、夏祭りの出店のようでした。

前の人との間隔に気をつけながら並び、自分の番をワクワクして待っていたことでしょう。

また、子どもを守る会の皆様には、今年の夏休みもラジオ体操のお世話をいただきました。

みなさまのご支援・ご指導に感謝申し上げます。

